

**日本語教育実習生と長久手市国際交流協会日本語ボランティアが
「やさしい日本語と防災」について学ぶ研修を県立大学で開催します。**

2015年度から、愛知県立大学日本語教員課程で学ぶ日本語教育実習生は、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室である「日本語ではなそう」と「ウエルカムにほんご教室」で、市民のボランティアメンバーと共に日本語を教えるボランティア活動を行なっています。

2016年度は21名の学生が ボランティア活動を行なうとともに、11月第3日曜日に開催される長久手市一斉防災訓練において、「多文化共生のまちづくりと防災時のコミュニケーション」をテーマにブース出展をするなど、多文化共生と外国人支援を目指した活動の幅を広げています。

2017年度は、4月に長久手日本語ボランティア教室の代表による講義を皮切りに、21名の実習生がボランティア教室に参加しています。その一環として、8月5日(土曜日)に、長久手市国際交流協会と県立大学日本語教員課程の協働事業として、ボランティア研修講座を開催します。

研修では、木曜日・土曜日の教室で活動しているボランティアと実習生が、実際に参加している外国人学習者を想定し「防災」をテーマにした教室活動案の作成を行ない、秋学期からの教室活動でより効果的な教室活動を目指します。ぜひ、取材をいただきますようよろしくお願いいたします。

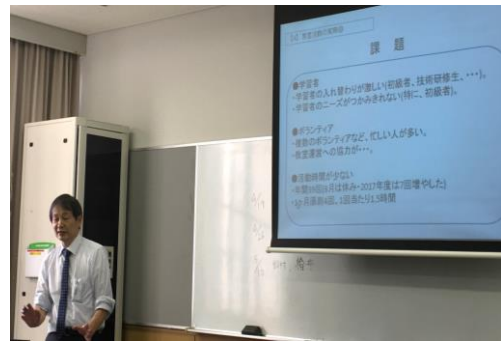
なお本研修は、愛知県立大学地域連携センターが後援しています。

日時：平成29年8月5日(土)10:00～15:00 (受付9:30～)

場所：愛知県立大学長久手キャンパス B棟101教室
(長久手市茨ヶ廻間1522-3)

研修テーマ「多文化共生に必要なやさしい日本語と教室活動」
研修担当：宮谷敦美・東弘子
(外国語学部国際関係学科・日本語教員課程)

参加者：愛知県立大学日本語教育実習生
長久手市国際交流協会日本語ボランティア



4月19日
長久手ボランティア教室代表による講義



長久手市防災訓練(2016年11月20日)



昨年度の合同研修(2016年8月11日)

■愛知県立大学日本語教員課程

愛知県立大学日本語教員課程は、外国語学部・日本文化学部・教育福祉学部の学生が履修できる副専攻課程です。県立大学の日本語教員課程の特徴として、プロの日本語教師だけでなく、多文化共生社会における外国人住民と日本人との橋渡しの存在として活躍できる人材育成を目指している点が挙げられます。

3、4年次に行なう1年間の国内実習では、長久手市国際交流協会日本語ボランティア教室での活動をはじめ、豊田市保見団地の小中学校見学、愛知県国際交流協会での見学等を通して、地域社会における多文化共生に関連した課題の理解と、さまざまな多言語・多文化の場面で必要となるコミュニケーション能力を身につけます。

【本件に関する問い合わせ先】愛知県立大学戦略企画・広報室(藤本)
愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3 Tel:0561-76-8636
(担当教員：外国語学部国際関係学科・宮谷敦美教授)